



今月の内容：今月のトピックス／特集！（「経営体育成基盤整備事業」について）／私と南会津（埼玉県蓮田市・星美千也さん）／農林事務所からお知らせ／今月のコラム／研修会・講習会等お知らせ

今月のトピックス

副業で経営を豊かに!!

地元で採れる農産物を活かして、豊かになるにはどうすればいいのでしょうか。

その答を出すためのヒントにさせていただこうと、11月21日に下郷町公民館で開催した「地域連携型アグリビジネス経営者セミナー」には、認定農業者をはじめ地域で直売活動に取り組んでいる方やグリーン・ツーリズムに取り組む方など大勢の方が集まりました。

午前中は講演としてグリーン・ツーリズムやアグリビジネスに詳しい明治大学農学部教授の山崎光博先生から「農家副業の新しい展開－地域農産物を活かして儲ける経営の秘訣」と題して、現在農家所得が減少している中で所得を取り戻すために、副業として、直売活動を含めたグリーン・ツーリズムへ取り組むことについてのお話を頂きました。

全国各地の事例を紹介しながら、グリーン・ツーリズムの基本は農家の副業を開発することで、農産物の直売活動や農家レストランなどもその一環ということ、一般



的な観光地は飽きられてきているので、地域の資源と女性の力を活かしつつ取り組んでもらいたいとのことでした。

午後は地域の農業・観光関係者の皆さんによる「地域農産物と地場食材を活かした経営戦略を考える」と題したパネルディスカッションが行われ、参加者も交えて活発な意見が出されましたが、観光関係者の方からは、ぜひ地元の農産物を使いたいので、少量でもいいからいろんな農作物を「売るつもりで」作って欲しいとの声があるなど、有意義な意見交換の場となりました。
(農業普及部)

健康食品「キノコ」を食べよう!

～「ハタケシメジ料理講習会」を開催～



11月5日、下郷ふれあいセンターにおいて、一般消費者の皆様を対象に、ハタケシメジのPRと消費拡大を図るための料理講習会(主催:下郷町林業振興協議会、下郷町、福島県南会津農林事務所)が開催されました。

下郷町湯野上のフランス料理店「chezやまのべ」のオーナーシェフ山野辺宏さんを講師に、南会津郡各地から食生活改善推進員や主婦の皆様など約40名の参加者があ

りました。山野辺さんに教えていただいた料理は、「ハタケシメジと若鶏もも肉のフリカッセ」、「ハタケシメジのクリームパスタ」、「ハタケシメジのロワイヤルスープ仕立て」の三品で、素材には地元で生産されたハタケシメジを使用しました。

参加者の皆様は、山野辺さんから素材を生かした調理法の説明を聞いたあと、グループ別に熱心に調理に取り組みました。

調理後には、試食会や意見交換を行い、「こんなに美味しいキノコだとは知らなかったの、食べてみてびっくりしました」という声も聞かれるなど、講習会は盛況のうちに終了しました。

なお、当日作った料理のレシピにつきましては、南会津農林事務所のホームページ(アドレス<http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>)に掲載しておりますので、ハタケシメジを購入の際は、挑戦してみたいかがでしょうか?

(森林林業部)

りんごを使った体験メニュー作り



田島町グリーン・ツーリズム推進協議会では、去る10月28日に田島町の会津山村道場で「りんごの加工講習会」を開催しました。

これは、地元産品を使ったグリーン・ツーリズムの体験メニューを増やすことや、それを教えるインス

トラクターを増やすことを目指して開催されたもので、第1回目の今回は田島町で採れる「りんご」を使った加工品の講習会となりました。

当日は地元の母ちゃん方を中心に20名以上が集まり、講師は田島町グリーン・ツーリズム推進協会長のペンション「会津六名館」の瀬田恒夫さんが務めました。メニューはりんごジュースから、アップルサイダー、アップルパイ、りんごアイス、そしてりんごの木のチップを

使った地鶏の燻製と5種類があり、それぞれりんごを木から収穫するところから始めるなど実際にグリーン・ツーリズムを体験するのと同じ内容です。参加者の中にはこれまでこのような経験をあまりしたことがなかった方もいて、楽しみながら取り組んでいました。

協議会では、今後もこのような取り組みを進め南会津の資源を活かしながら、「教わるのも、教えるのも楽しい体験メニュー」をどんどん増やしていきたいとのことでした。

(地域農林企画室)



(問題)右の道具は何でしょう?(答:ジュース絞り器)

毎月8日は「ごはんの日」!



11月7日(金)と12月8日(月)、会津田島駅前(両日)とヨークベニマル田島店前(11/7)、リオン・ドール田島店前(12/8)において、毎月8日の「ごはんの日」と県産オリジナル米「ふくみらい」のPR活動を行いました。

「ふくみらい」は、福島県が10年以上の歳月をかけて開

発した独自の品種で、昨年より本格的な栽培が始まり、県内を中心に販売されています。味は、「コシヒカリ」「ひとめぼれ」に比べ、粘りがやや少なく、さっぱりとした飽きのこないおいしさです。

当日はキビタンファミリーも加わり、「ふくみらい」のパック詰めごはん(11/7)やサンプル米(12/8)、チラシ、パンフレットを歩行者や買い物客の皆様にご手渡し、県産米の消費拡大を呼びかけました。

なお、この日は学校給食でも「ふくみらい」を食材とした米飯給食が県内一斉に実施され、子供たちにも「おいしい、ふくみらい」を味わってもらえたと思います。

なお、来年1月に以下のとおり「ふくみらい料理教室」を開催しますので、皆さんご参加ください。(農業振興部)

【ふくみらい料理教室】(南会津農林事務所主催)

日時:平成16年1月22日(木) 10:30~14:00

場所:下郷ふれあいセンター(下郷町役場向い)

講師:館岩村 ペンション「ロマネスク」 堀江哲郎さん

募集人数:18歳以上の消費者の方30名程度

申込期間:平成15年12月15日(月)~平成16年1月9日(金)

申込先:農業振興部振興グループ(電話:0241-62-5253)

南会津農林事務所長賞に 木製賞状がデビュー

福島県木材青壮年協会田島支部では、子どもたちに木とふれてもらうことを目的として、夏休みの時期に「チビッコ木工工作コンクール」を開催しています。子どもたちの力作に対しては様々な賞が贈られますが、このたび、「南会津農林事務所長賞」を受賞した方に、地元産スギでできた木製賞状を贈呈しました。

今年の実賞者は、荒海小学校4年生の大嶋萌さんでした。作品のタイトルは「防波堤での釣り」で、波止場でみんなが仲良く釣りを楽しんでいるところを豊かに表現した作品に仕上がっています。萌さんも海釣りが大好きで、休みの日になるとお父さんと一緒に新潟やいわきまで出かけているそうです。また、図工も得意で、木工工作コンクールには1年生の時から出品しており、これまでも優秀作品として表彰されたことがあります。萌さんは、「木の賞状は普通の賞状よりももらって嬉しい」と嬉しそうに話してくださり、他の賞状と一緒に飾るとのことでした。

木製賞状の材料となったスギ板は、地域の木材業者が、南会津の木をもっと使ってもらおうと試作されたものを使用しました。文字はレーザー加工機で彫り込みを入れています。木製賞状は今年初めての取り組みであり、まだ試行錯誤の段階ですので、今後も利用方法について検討を進めたいと思います。

(森林林業部)



おめでとうございます!



特集！



「経営体育成基盤整備事業」は、旧来の「ほ場整備事業」と「土地改良総合整備事業」が合体して平成15年度から新設されました。「ほ場整備事業」は水田等の区画の整備を目的とし、「土地改良総合整備事業」は区画整備が完了した地区内の水路等の整備を目的としていました。経営体育成基盤整備事業は区画整理事業だけでも実施できますし、または①区画整理事業②農業用排水施設③農道④客土⑤暗渠排水の中から2つ以上を組み合わせてもできます。事業は都道府県が事業主体となります。ただ

し採択されるためには事業完了時に認定農業者や担い手(農業者、生産組織または集落営農)への農地の集積が、定められた割合以上に増加する必要があります。

なお、ここで言う担い手は、以下のような方がなることができます。

- ・認定農業者又はある一定の年齢(16歳以上60歳未満)、経営面積(おおむね1人当たりの3ha以上)等を満たしている者。
- ・組織の運営規約等を定めている農業者の生産組織。
- ・運営規約等を定めており事業完了後3年間以内に法人化が確実に見込まれる組織。

以上簡単に事業内容を述べましたが、計画から採択までには5~6年掛かります。農村整備部はほかにも農業農村整備事業の水路、道路、活性化施設等の事業を担当しておりますので、農業農村整備事業についてのお問い合わせは南会津農林事務所農村整備部までお願いいたします。(農村整備部)

私と南会津



埼玉県蓮田市 星美千也さん(館岩村森戸出身)

昭和31年、館岩村森戸に生まれました。父は直躬、母はカヨ子です。

館岩中学校卒業後、会津高校、埼玉大学に進み、昭和55年に教員として埼玉県に奉職しました。その年に偶然にも我が故郷・館岩村に大宮市立少年自然の家(現さいたま市立少年自然の家)の建設が始まりました。驚きました。その後縁があり、職員として2度、6年間勤務しました。ここには、職員(指導主事)の一人を福島県の教員から採用するという割愛人事の制度があり、当時の同僚として、湯田耕衛さん(元田島小学校長)、田中昭一さ

ん(現檜枝岐小学校長)、原英二さん(現喜多方市立松山小学校教頭)、星秀司さん(現田島中学校教頭)がおられ、様々な面で学ばさせていただきました。

祇園祭や檜枝岐歌舞伎に連れて行っていただいた時は、南会津の再発見の時であり、感動の一時でした。

勤務は自然が好きなお仕事もあり、積極的に子どもたちの自然体験活動を支援できたと思います。特に燧ヶ岳には子どもを引率しながら十二回ほど登りました。そしてその頂上からのパノラマ展望は、南会津の自然の豊かさとともに生涯忘れ得ぬ風景となりました。一緒に登った子どもたちも同じだと思います。

今現在は、さいたま市教育委員会に勤務しており、旧浦和市と姉妹都市となっていた南郷村の子どもたちともかかわりを持つようになり、不思議な縁を感じています。南会津は私にとっては、懐かしいだけでなく、今でも社会人として自分を成長させてくれるありがたい所なのです。

南会津の皆さん、お世話になってます！

農林事務所からお願い・お知らせ

コイヘルペスウイルスのまん延防止について

現在、全国的にコイヘルペスウイルス(KHV)によりコイが大量に死ぬということが発生しています。現在福島県では感染は確認されていませんが、今後感染する可能性が考えられます。そこで、感染を防ぐためにも次のことに皆様のご注意、ご協力をお願いします。

1. コイの放流自粛について
河川や湖沼へのコイの放流は自粛してください。
2. へい死コイの扱いについて
へい死したコイを確認した場合には、死因究明のため、魚は移動させず直ちに福島県内水面水産試験場に連絡してください。
3. コイ、ニシキゴイの購入について
コイを購入する場合は、この病気の発生のない生産地から購入するなど、十分注意してください。

連絡先: 福島県内水面水産試験場 生産技術部
(耶麻郡猪苗代町(電話:0242-65-2011))



今月のコラム



南会津の自然



本 年4月の異動で南会津農林事務所勤務になりました。

自宅は郡山市なので単身赴任をしています。通常の往復パターンは、車で月曜日に田島町にきて金曜日に郡山へ帰ります。往復の経路は天栄村の鳳坂峠(国道118号羽鳥湖経由)を通ります。南会津に来て感じたことは、季節の変化が早く、しかもメリハリがあることです。それは驚きでもあり、感動的でもあります。4月はまだ周囲に雪があり、寒く、春はずっと遠いのかなという思いがしました。

往復経路途中にある、郡山市と岩瀬村境の川沿いに、たくさんの桜の木があります。月曜日に通過した時は、満開にはまだ早いかなという感じでしたが、金曜日にはほとんど散っていました。もう一週間が経ったのかという思いと、こんなにも季節の移り変わりは早いものかとしみじみ感じられ、また驚きでもありました。

羽鳥湖から下郷町湯野上までの道路は、ほとんどが山の中を縫って、鶴沼川に沿って走っています。天栄村湯本温泉を過ぎて、下郷町に入り、南会津の山々が見えると、急に自然を感じます。新緑が心なしか

中通りのそれとは違います。若々しさ、みずみずしさにあふれた躍動感を感じます。緑のふところにいだかれて元気を感じます。見事です。次に通る時はどんな感じかとわくわくするほど心が躍るようです。

それは、春に限らず夏は夏の良さがあります。秋の紅葉は一層季節の移り変わりを感じます。赤は一層赤く、黄色は色濃く黄色になり、一週、一週通るたびに景色が変化し、やがて落葉してゆきます。これほどまでに季節を感じたことはここ何年も無かった気がし、新鮮さを感じています。

このような状況は南会津管内のどこへ行っても感じられます。さらに言えば、南会津管内の奥へ行けば行くほどこの感じが深まり、まさに自然の中にどっぷりつかったような気がします。最近よく使われていることばで言えば「心が癒される。」ということでしょうか。

南会津のこの自然は、まさに財産であります。近年自然保護、環境保全のことが重視されておりますが、私たちの仕事もこの貴重な財産との調和を保った事業実施が大切であると一層感じている今日この頃です。
(農村整備部長 遠藤邦夫)



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容 月 日 場 所

①県産大豆の豆腐加工	1月14日(水)	農業短期大学校(矢吹町)
②農産物流通の現状と有利販売事例	1月21日(水)	農業短期大学校(矢吹町)
③農産物販売のためのホームページ活用法	1月22日(木)～23日(金)	農業短期大学校(矢吹町)
④安全な加工品販売のための品質表示方法	1月27日(火)	農業短期大学校(矢吹町)
⑤トラクタ保守点検整備	1月28日(水)～29日(木)	農業短期大学校(矢吹町)

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262



あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

E-mail minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

しんごろう
(田島町藤生)

撮影：岸



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。

